



HPにカラー版を掲載しています
(毎月1日更新)

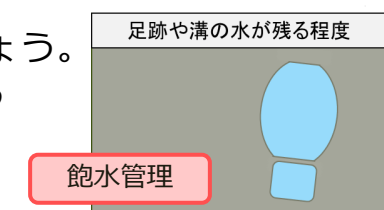
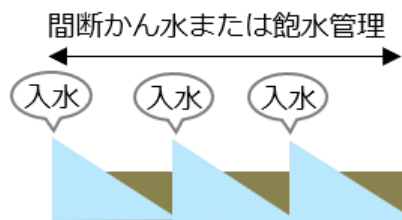
● 水稻の管理

◆ 今後の水管理

間断かん水で根を元気に保ちましょう

間断かん水とは、湛水と自然落水を繰り返す水管理です。
(湛水→自然落水→1~2日後に再入水)

- 活着後から中干しまでの基本的な水管理です。
 - 落水することで根に酸素を供給し根張りを促進します。
 - 常時湛水は根痛みや生育不良の原因になるため避けましょう。
- ※用水不足時はひたひた水管理(飽水管理)を行いましょ



◆ 除草剤について(中後期除草剤)

雑草が残ると、収量・品質の低下につながります。

- 雑草発生圃場は、薬剤の使用時期や雑草の葉齢を確認して早めに防除しましょう。
- 薬剤ごとに適用葉齢・水管理・使用時期が異なるためラベルを確認してください。

対象雑草	除草剤名	10aあたり薬量 (散布液量)	使用時期	使用回数
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3~4 kg	移植後15日~収穫45日前まで	1回
	バサグラン液剤	500~700mL (70~100L)	移植後15日~収穫45日前まで	2回以内
イネ科雑草のみ	クリンチャー 1キ口粒剤	1 kg	移植後7日~ノビエ4葉期 ※収穫30日前まで	2回以内
		1.5 kg	移植後25日~ノビエ5葉期 ※収穫30日前まで	2回以内
	クリンチャー EW	100mL (25~100L)	移植後20日~ノビエ6葉期 ※収穫30日前まで	2回以内
広葉及びイネ科雑草	クリンチャーバス ME液剤	1000mL (70~100L)	移植後15日~ノビエ5葉期 ※収穫50日前まで	2回以内
	レプラスジャンボ ※テフリトリオンを含むため 一部品種で薬害あり	400 g (小包装10個)	移植後14日~ノビエ4葉期 ※収穫60日前まで	1回

クリンチャーEWは展着剤の加用を!

農研機構HP



※品種によって使用できない除草剤があります。必ず農研機構HP等で確認しましょう。

◆ カメムシの発生に注意!!!

- 高温の影響で今年もカメムシの発生増加が予想されます。
- 畔際雑草はカメムシ類の発生源です。出穂期の14~10日前に除草しましょう。
- ノビエやホタルイなどの雑草も発生源となるため、早めに除草しましょう。
- 薬剤防除の適期は出穂後です。事前に薬剤を準備しておきましょう。

イネカメムシ



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



←病害虫の発生情報をチェック!

●大豆の管理

◆大豆は播種が最大のポイント

播種適期は7月1日～7月20日です！

大豆で高収量を確保するためには、「適期・適正播種」を行うことが重要です。7月中旬以降の播種は収量が大きく下がります。天気予報を見ながら、計画的に播種を行いましょ。

種子消毒は必ず実施しましょう

種子消毒は、種子伝染性病害の予防に加え、種子腐敗を抑え、発芽率の向上や苗立ちの安定につながります。

【クルーザーMAXX(8mL塗布処理)】：茎疫病、紫斑病、アブラムシ類など幅広い病害虫に有効

播種量

播種量は播種時期によって加減が必要です。

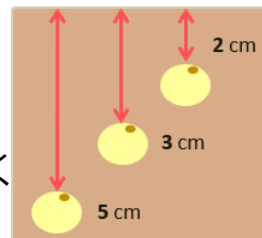
表:播種時期と播種密度の目安

播種時期	条間×株間	播種量
6月20日～30日	75cm×20cm	4kg/10a
7月1日～15日		
7月16日～25日	75cm×10cm	8kg/10a

播種深度

播種後の天候に応じて、播種深度を変えましょう。

- 基本は3cm
- 播種後に**降雨が予想** ⇒ **2cm**で鎮圧は軽く
- 播種後に**乾燥が予想** ⇒ **4～5cm**でしっかりと鎮圧



適期播種のために耕起タイミングが重要

耕起は播種直前に行い、速やかに播種しましょう。

耕起後に雨が降ると土が乾きにくく、播種遅れの原因になります。

◆乾燥対策

大豆は播種～出芽前は排水対策、出芽後は乾燥対策が重要です。

⇒出芽後は本暗渠の栓を閉め、土壤水分を確保しましょう。

※降雨時は栓を開け、速やかに排水しましょう！

降雨時・出芽前



乾燥時・出芽後



◆雑草対策(初期除草剤)

大豆は初期生育時の雑草防除が重要です。雑草が大きくなる前に、発生状況を確認しながら適期に防除しましょう。

使用時期 ※大豆生育ステージ	薬剤名	適用雑草	10aあたり使用量 薬量/希釈水量	留意点
耕起前または 出芽前まで	ラウンドアップ マックスロード	1年生雑草 (非選択性)	200～500mL /50～100L 少量散布※:5～50L	残草がある場合散布 (2回以内)
播種後出芽前	ラクサー乳剤	1年生雑草	400～800mL /100L	・雑草発生前 ・全面土壤散布 (1回以内)
	フルミオWDG	広葉雑草	5～10 g /100L	
出芽～3葉期まで	パワーガイザー液剤	1年生雑草	200～300mL /100L	雑草発生始期～雑草2葉期 ※アサガオツル化前まで (1回以内)

※少量散布の場合は、希釈水量に応じて専用ノズルを使用しましょう。

※フルミオWDGを散布した後はタンクやノズルを専用洗浄剤を使用して**しっかり洗浄**してください。